

日本共産党

福山市議会だより

日本共産党福山市議団の
議会質問をお知らせします。

2021年秋冬号
議会報告

声を届けて

実現しました

日本共産党市議団は、コロナ禍でバイトができず食費にも困る学生や、くり返される「自粛」に苦しむ事業者の声を直接聞き、市に対策を求めてきました。9月の補正予算で、2つの要望が実現しました。

学生応援パック

◆福山市出身の学生、市外出身で市内の大学等の学生で、一人暮らしの方に食料品などを配送。

受付は福山市WEBサイトで

申請

福山学生応援パック

11月から受付開始予定

中小事業者に応援金

◆外出自粛などの影響で、5～9月の売上が前or前々年比3割以上減った事業者に応援金。

申請

☎084-959-2524

受付は12月17日締め切り

福山 中小事業者売上回復応援金

学生に実態アンケート



市長に対策を申し入れ

医療の充実 日本共産党が提案 求める意見書が可決

福山市議会は、日本共産党市議団が提案した「地域住民のいのちと健康を守るため医療体制の充実を求める意見書」を全議員の賛成で可決し、国に提出しました。

県内の医療機関などをつくる市民団体が意見書提出を議会に要望したことを受け、日本共産党市議団が意見書案を取りまとめたものです。

公立・公的病院の削減は許せない

意見書は、コロナ禍で医療・公衆衛生体制がひっ迫した事態を繰り返さないよう体制の拡充と、国が進める公立・公的病院の削減計画の再検討を求めています。

コロナ禍で、市民病院などの公立・公的病院は最前線で対応にあたってきました。感染症や災害

意見書の要望項目

- 医師、看護師、介護職、保健師等の増員が必要であることを認識し、増員計画を示すこと
- 公立・公的病院の再編統合「再検証対象医療機関」については再検討するとともに、地域住民が医療の心配をしなくても暮らせるよう、感染症病床の増床や、急性期・回復期機能など実態に応じた病床数を確保すること



医療をになう中心であり、削減など許せません。再検討するべきと、党派を超えて福山市議会が一致できたことは画期的です。

日本共産党市議団は引き続き、市民のいのちと健康を守るためにがんばります。

介護保険の改悪やめよ

介護施設の食費・居住費の負担が大幅増

市として負担軽減を

国は、8月から介護保険の「補足給付」の対象を縮小しました。補足給付とは、介護施設に入所する低所得の人の食費などを補助する制度です。

介護が利用できない

市内で、預貯金などの資産要件の改悪により補助対象から外れた人は約400人、年収が120万円超で大幅負担増の可能性がある人は1860人に上ります。負担が増えたためにショートステイの利用を減らざるをえないなど、深刻な影響がでています。

日本共産党市議団は「コロナ禍で暮らしが苦しいときにあまりに冷酷だ」と批判し、改悪による負担増分を市が独自に軽減することを求めました。

しかし、枝広市長は「負担能力がある方に相応の負担をいただくと」として「軽減策は考えていない」と冷たい答弁でした。今回の改悪は、自公政権が国会審議もせずに強行したものです。「自助」を押しつける社会保障を切り捨てる悪政から市民の生活を守るべきです。

資産要件が厳格化。上回ると補助の対象外に。

年収80万円以下	単身1千万円 夫婦2千万円以下 (7月まで)	単身650万円・夫婦1650万円以下
年収80万～120万円		単身550万円・夫婦1550万円以下
年収120万～155万円		単身500万円・夫婦1500万円以下

食費負担の値上げ額(年収ごと)

	80万円以下	80万～120万円	120万～155万円
特養ホームなど(月額)	変更なし	変更なし	2万2010円
ショートステイ(日額)	210円	350円	650円

お困りごととは私たちにご相談ください



高木たけし
☎084-972-6830



河村ひろ子
☎084-965-6049



みよし剛史
☎090-1182-3973

✉info@f-jcp.com

☎084-952-2662



www.f-jcp.com

fukuyamajcp

jcpfukuyama

日本共産党 福山市議団